

# あおもり

2019

# 6

June

No.175



表紙:制作テーマ  
 内外へ相互にはたらく  
 力の対流と循環。

作: Chiho Kogawa  
 グラフィックデザイナー・イラストレーター。株式会社ツクリダスに所属しつつ個人でも活動を行う。

## CONTENTS / 目次

【特集】  
 「食」×「観光」、  
 青森の価値を世界へ ▶ P2

【連載】  
 地域から魅力発信!  
 「ハッピー♡リレー」〈中南地域〉/  
 地域の旬食材レシピ ▶ P6

青森の未来に全力! 県職員最前線レポート  
 「土砂災害から身を守るために」/  
 今日からできる3つのRの実践でごみの減量化/  
 県民の皆さまの声を県政に活かします ▶ P7

「暮らしの足」を守る  
 ～路線バスの現状と県の取組～/  
 あおもりインフォメーション ▶ P8

## 「食」×「観光」、 青森の価値を 世界へ



Vol. 1

県が昨年行った調査によると、「5年前に比べて青森県のイメージが良くなってきている」と答えた県民の方は54.9%と、回答者の半数を超えました。

これは、「青天の霹靂」の特A評価取得や農林水産品の販売拡大、外国人観光客の増加などにより、青森県の価値が国内外から認められてきている、と感じる県民の方々が増えていることが要因の一つと考えられます。

AIやIoTなど第4次産業革命の進展により、時代は大きな転換点を迎えています。ライフスタイルや価値観の多様化が進む中で、豊かな食や美しい自然、暮らしやすさなど、本県の魅力を世界に届けていくチャンスが広がっています。

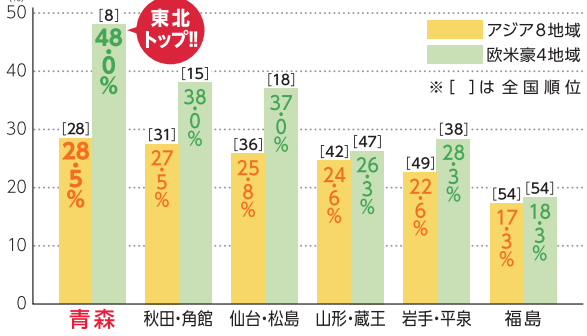
「平成」から「令和」へと新しい時代を迎え、本県では、新たな県行政運営の基本方針となる「青森県基本計画」選ばれる青森への挑戦に基づく取組がスタートしています。

計画では、本県の強みである「食」と「観光」をけん引役として、「経済を回す」仕組みづくりを進め、魅力ある雇用の場を増やしていくことをめざしています。

「選ばれる青森県」をめざして、共にチャレンジしていきましょう。

## アジア・欧米豪の人が行きたい都市

[東北を知っている人の訪問意欲主要54都市ランキング]  
出典：株式会社日本政策投資銀行東北支店 2018東北インバウンド意向調査



## 東北訪問経験者アンケートより [複数回答]

- 満足度の高かった点**
- ◎ 自然や風景見物 / 54.1%
  - ◎ 温泉入浴 / 51.4%
  - ◎ 桜の観賞 / 50.7%

- 満足度の低かった点**
- ◎ 電子決済の利用のしやすさ
  - ◎ バス・タクシーの利便性
- 出典：株式会社日本政策投資銀行東北支店 2018東北インバウンド意向調査

## 青森招聘ツアーに参加した台湾人の感想

- ◎ ラーメン、和牛、寿司は人気が高い
  - ◎ りんごの商品がたくさんあって驚いた
  - ◎ 近代的な建物のA-FACTORYは、品揃え、陳列方法も台湾人の好み。
  - ◎ 五所川原立佞武多、弘前ねぶた、青森ねぶたの祭りが最高。
- 出典：北東北「食街道」周遊プロモーション アンケートインタビュー

# 人口減少克服へ。めざすはLocal to World 青森から「世界へ打って出る」

私たちが、ごく当たり前のものと思っている美しい自然、きれいな水、新鮮で安全な食品、祭りなど、県民の日々の暮らしの豊かさは、県外・海外の多くの方々から、とても高く評価されています。県では、多様な地域資源を生かしながら、「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクトと「多様なしごと創出プロジェクト」により、「経済を回す」取組を進め、魅力あるしごとをつくり、多様な雇用を生み出していききたいと考えています。

待てます。本県を訪れる外国人観光客のうち、最も多いのは、県産りんご最大の輸出先でもある台湾であり、県産りんごの販路拡大が、本県の知名度向上にも一役買っています。また、本県が構築した新たな流通サービスマーケット「A! Premium」により、県産農林水産品の販路は、西日本そして香港やシンガポールをはじめとするアジアへと飛躍的に拡大しており、食を通じた青森の魅力の更なる発信が期待されます。めざすは「Local to World」。青森から「世界へ打って出る」という意気込みで、人口減少克服に挑戦します。

## 特集 「食」×「観光」、青森の価値を世界へ

# 世界と「つながる」 世界から「選ばれる」 新たなチャンスが 広がっていく。



## 経済を回すとは…

県では、地域において魅力ある仕事をつくり、多様な雇用を生み出し、そこで生まれた収入を地域経済の中でしっかりと回していく、という「経済を回す」取組を進め、人口が減少しても安心して暮らせる青森県づくりをめざしています。





2020年から  
首都圏を中心に全国へ  
本格出荷予定!!



南部町おとう「ジュノハート」  
ブランド化推進委員会会長  
やまもと まい  
**山本 又一**さん  
「山本チェリーファーム」園主。「南部町  
名川観光さくらんぼ園振興会」会長、「達  
者村農業観光振興会」副会長を務め、  
地域の農業・観光振興に尽力している。



果実の大きさの比較

【ジュノハート】

【佐藤錦】

※青森産技研ご研究所提供

# さくらんぼの新品種「ジュノハート」 6月待望のデビュー!!

カタチも味も品質も  
世界を感動させる  
青森県産品に

数年前、試験栽培中の畑で初めてジュノハートを見た時は、感動しました。これまで見たこともない大玉で美しいルビー色をしたさくらんぼが、鈴なりに実っている。まるで別世界、夢のような光景でした。食べてみると、甘みが強く若い世代の好みにもぴったり。国内産では最大のサイズなのでプレミアムなイメージが強く、「これは、世界が驚く青森県のブランドになる」と確信しました。

GW頃に開花し、55日間前後で収穫しますが、受粉のタイミングや、雨で実が傷まないように管理にはとても気を遣います。ジュノハートは、7〜8割が3Lサイズですが、うまく実すぐりをすれば4Lの比率を高めることができます。栽培技術を磨き、高品質生産につなげることで、「稼げる農業」をめざしたいと思っています。地域の生産者たちもジュノハートに大きな期待を寄せており、結

力が高まっています。また、農家を継ぐつもりがなかった若者が後継者になるなど、地域に希望と活気が生まれています。ジュノハートは、佐藤錦に比べると実が硬めで日持ちがよく輸送にも耐えられる品種なので、将来的には海外マーケットでも高く評価されると期待しています。世界一の誇りを胸に青森から発信し、10年後には一大産地を目指したい!と夢を描いています。

500円玉よりも大きく  
国産でNo.1クラスの  
サイズ

- 3L 横幅28~31mm 未満 (7~8割がこのサイズ)
  - 4L 横幅31mm以上 (約2割がこのサイズ)
- ※一般的な佐藤錦はM~Lサイズ

甘さ  
たっぷり!

糖度20度で  
酸味が少ない  
(佐藤錦は糖度18度で酸味あり)

愛らしい  
ハートの  
カタチ

※実寸大  
サイズイメージ

**Junoheart**

【ジュノハートロゴマーク】  
おとう「ジュノハート」ブランド化推進協議会に登録した生産者により出荷されるジュノハートにのみ、本ロゴマークが使用されます。



【青森ハートブランドロゴマーク】  
ジュノハートの中でも、4Lサイズ(横幅31mm以上)で厳しい品質検査に合格したものを、青森ハートブランドとしてブランド化。

## 個性豊かで首都圏でも評価されている青森米

「青天の霹靂」は、朝からお茶碗一杯をさらりと食べられるお米。お米が味を主張しすぎないため、だしやお醤油などを使った日本古来のおかずと相性が良い。冷めてもおいしく、お弁当に最適。現代の消費者ニーズに合った市場で勝ち残っていきけるお米を使うことは大事です。県民の皆さんが胸を張って自慢できるお米ばかりですから。

米だと期待しています。粘り気があり冷めても硬くなりにくい「あさゆき」、適度な弾力がある「まっしぐら」など青森米は実に個性豊か。地元飲食店でも積極的に地元米を使うことは大事です。県民の皆さんが胸を張って自慢できるお米ばかりですから。

## 青森ブランド米 全国・世界へと市場拡大



皆知っている定番!



つがるロマン  
全国のスーパーや百貨店の総菜弁当、冷凍食品などのメニューにも使用。

大手外食チェーンも!



まっしぐら  
誰もがご存知の回転ずしや牛丼など大手の外食チェーン店で人気。



株式会社スズノブ 代表取締役  
にし じま とよ ぞう  
**西島 豊造**さん

五ツ星お米マスター。東京都内で米穀専門店「スズノブ」を運営するかわら、米に関する幅広い知識を活かし、新聞、テレビ、雑誌などで活躍中。

# 2019年7月17日

## 青森・台北線就航!!

「世界とつながることの大きなメリット」



### 海外からの観光客向け 新規ビジネスの展開

#### 定期就航によって ビジネスチャンスが拡大

「アジアからの観光客誘致推進協議会」は、県内の6つの農家団体が連携し、アジアの学校を対象に教育旅行の受入れを行なっています。

台湾を中心にアジアの国々から訪れた学生たちは、県内の農家に宿泊して農作業を体験したり、農家のお母さんたちと一緒に料理を作りながら交流を楽しみます。高級フルーツである青森りんごが木になっているだけで感動し、楽しそうにもぎとり体験をしたり、雪景色に歓声を上げ、スキーやそり遊びに夢中になります。



学校法人 青森田中学園  
青森中央学院大学  
事務局長(国際交流担当)  
三浦 浩さん

「アジアからの観光客誘致推進協議会」事務局を務め、アジアからの教育旅行生を誘致し、青森県内の農家に宿泊し交流を行なうグリーンツーリズムを推進している。

交流人口が増えることで地域が活性化し、お土産品の開発を始めたり、台湾のまちづくり団体と黒石市の「NPO法人横町十文字」ちそだて会が協定を結ぶなど、さまざまな動きが生まれています。

青森・台北直行定期便就航は、大きなビジネスチャンスです。たとえば、団体同士のマッチングサービスビジネスや、近年、増加している個人客からの問い合わせに對してワンストップで対応するインフォメーションセンター、また、買い物ツアーバスなどニーズに合わせた輸送ビジネスも必要になってくるでしょう。

受入れ先の農家の方々は、「おもてなしするためには、まず相手の国の文化を知らなくては」と、よく海外に出かけています。ぜひ、県民の皆さんも直行便を利用して台湾にだけ、観光客向けの新規ビジネスのヒントを見つけてください。



#### 海外から教育旅行に訪れた学生(先生)の声

- ・田んぼアートが素晴らしい感動的(10代:女性)
- ・都会に負けないぐらいの文化や美しい景色が印象的(10代:男性)
- ・言葉が通じなくても、楽しい交流ができた(10代:男性)
- ・青森の桃は今まで食べたことのないおいしさ。みずみずしくて台湾の桃と全然違う。(50代:女性)
- ・青森のほたては新鮮で美味すぎる(10代:男性)



### ビジネスステージは 青森から世界へ

#### 青森生まれのコスメを 台湾のマーケットで

10年前前、りんごやにんにく、あおもりカシスなど、県産品と国内産の植物エキスを使った自然派化粧品を開発・販売を始めた。

販路拡大を模索していたところ、県から紹介された日台交流のイベント会場で台湾の会社の方と知り合い、二度、台湾に来てみませんかと誘われたのが、全てをきっかけとした。その頃、台湾には行ったこともありませんでしたが、海外で評価されれば逆輸入のチャンスかも!という思い立って、まずは一歩踏み出してみよう、名刺1枚を握りしめ台湾にだけかけた。



それを機に、2013年台湾とアメリカで販売がスタート。さらに2017年には、実体験から得たノウハウを生かし、青森の企業の海外進出を支援する会社を東京に設立しました。台湾人は、日本のものは高品質で安心・安全というイメージを抱いています。しかし、選ばれる必要は、個性がなければいけません。個性が必要。青森県人は個性豊かな人が多いので、商品プラス人の魅力をどんどんアピールするべきです。まずは台湾で現地の雰囲気を感じ、1回や2回で成果を期待せず、一歩踏み出すことから始めませんか?



株式会社 Make Mii 代表取締役 CEO  
外崎 真由美さん  
県産・国産にこだわった植物由来の自然派化粧品  
の企画・販売を行なうとともに、青森の企業の海外進出を支援している。

#### ふるさと「あおもり」への自信と誇りを胸に笑顔と真心のおもてなしを!

7月~9月の3ヶ月間、JR 東日本の大型観光キャンペーンが実施され、国内外から多くのお客様が青森を訪れます。青森県の魅力紹介はもちろん、「青森に来て良かった」「また青森に来たい」と感じていただけるような、私たち一人ひとりの笑顔と真心の「おもてなし」が大切です。今年ラグビーワールドカップ開催、2020年は東京オリンピック・パラリンピック、2021年は東北6県ディスプレイキャンペーンと、本県に誘客を促進するチャンスが続きます。追い風が吹き抜けようとする今、ふるさと「あおもり」への自信と誇りを胸に、私達も風に乗れ、盛り上がりましょう!



### 青森から直行便で行く 気軽で手頃な海外旅行

#### 台湾まで約4時間! 魅力いっぱい台湾の旅

台湾への定期便が就航することで、青森から羽田・成田空港までの費用と時間をかけず、手軽に台湾旅行が楽しめるようになりまし。

台湾は治安が良く親日的で、海外旅行初心者にもオスロメの国。古い街並みや伝統ある祭りも多く、日本人の口に合う台湾グルメも人気です。台湾屈指の人気スポット「九份(きゅうふん)」は、古い館がノスタルジックな雰囲気です。夕暮れ時は幻想的。また、台北最古のお寺「龍山寺(ろんざんじ)」世界



屋台

台北101

国立故宮博物院

四大美術館に数えられる「国立故宮博物院」、展望台から台湾の街を見渡すことが出来る「台北101」など見どころがいっぱい。また、さまざまな屋台や雑貨店が軒を連ねる「夜市」巡りもおすすめで、街には小籠包や台湾スイーツの有名店もあり、本場の味が楽しめます。女性にとっては、台湾式マッサージやエステなど、美容関連のお店が多いのもうれしいところ。歴史や文化、食、美容と台湾の魅力は実にバリエーション豊か。ますます近く、速く、便利になった台湾へ、さっそく出かけませんか。

6月

#### 特集関連番組放送予定

放送局	番組名	放送日時
青森放送	大好き、青森県。	6月16日(日) 17:00~17:15
青森テレビ	みんなの県庁!	6月8日(土) 16:55~17:00
青森朝日放送	メッセージ	6月8日(土) 9:30~9:35 6月22日(土) 9:30~9:35

3ページに関すること/総合販売戦略課 ☎017-734-9573、9607  
特集に関する問い合わせ先 青森・台北線就航に関すること/交通政策課 ☎017-734-9153  
青森県基本計画に関すること/企画調整課 ☎017-734-9129



### 柿崎こうこの 優しい美味しい! ああ、台湾行きたい

海外旅行が大好きな私ですが、台湾はレポート数がいけば多い大好きな国。言葉や文化の違いもあり、海外では嫌な思いをすることもままありましたが、台湾に限りそれが一度もない!むしろ、親切に預かり温かい気持ちにさせられた思い出ばかりです。また、ごはんが美味しいことはもちろん、ひとり旅でも屋台やテイクアウトなど、軽食類も豊富でひとりごはんに困ることもなし。隅々まで旅行者に優しい。...こうして書いているだけで、街の匂いやお気に入りの味が蘇り「ああ、台湾行きたい」とまた思う。

直行便の就航という嬉しいニュース。両思いなどところのある日本と台湾ですが、これを機にますます交流が深まることを期待しています!



柿崎 こうこイラストレーター。青森生まれ。食をはじめ、旅、美容、健康などライフスタイルをテーマとしたイラストが人気。雑誌、広告、書籍などを中心に活躍中。柿崎こうこHP「ビューティセブン」/https://www.kakizakikoko.com  
@koko\_kakizaki\_illustration

# Happy



弘前市の畑で自家栽培する藍

### Snow hand made

TEL 0172-55-6353  
(9:00-17:00)  
<http://snow-hand-made.com/>

※詳しくは、  
f snowhandmade.hirosaki  
@YKKS58

地元人がレポート!

連載

## 地域から魅力発信! ハッピー♡リレー

vol.7 | 中南地域

染織工房「Snow hand made」  
— 弘前市 —

地域の旬食材  
レシピ付

弘前から全国へ発信。

「弘前藍」をひとつの  
ブランドにしたい。

「世界でひとつだけのもの」をコンセプトに、草木染の織物や編み物で和装用品やアクセサリーを制作する佐々木亮輔さん、由貴さんご夫妻。以前は、沖縄県・波照間島の工房で仲間と活動していたが、由貴さんの地元

である弘前を訪れた際、弘前の手しごとの多さ、クオリティの高さに驚き、感動したのがきっかけで、2015年弘前に移住し、二人で染織工房を構えたのだ。

青森県内の桜やりんご、よもぎなど、さまざまな植物で布や糸を染め、遠方からのオーダーにも「その人だけのものをつくりたいから手間暇は惜しまない」と穏やかに話す由貴さん。また、「植物が持つ色をいかに美しく引き出すかが自分の役目」と話す亮輔さんが一番情熱を捧げているのは、自家栽培する藍。「地獄建て」「正藍染め」という

室町時代から伝わる手法を用いて染める藍色は、生き生きとした鮮やかさでも美しい。現在は自家栽培する藍と徳島の阿波藍をブレンドしているが、今後は100%弘前産だけを使った「弘前藍」をひとつのブランドとして確立させたいと熱い思いを語ってくれた。



「四季がしっかりある弘前が好き」と語る2人。



二人が作る作品は、色もデザインもオリジナル性が高いものばかり。

### Profile

#### 染織工房 「Snow hand made」

2015年7月に沖縄県波照間島から弘前市に工房を移したのをきっかけに発足。春～秋にかけては、県内外のクラフトイベントに出展。また、県内セレクトショップなどでの販売やネット注文も受け付けている。



弘前市在住  
ありよし  
小杉 在良さん

5回の推薦者



北海道釧路市出身。弘前に移住して19年目。県外に出掛けて帰ってくると岩木山を見てほっとする。NPO harappaスタッフとして、自主上映会や子ども向けワークショップ、若手作家の活動支援などアートに触れる機会の提供を行っている。

### Healthy Point

- ✓ ミズの食物繊維で美腸に!
- ✓ 鶏ササミは高タンパク、低カロリー!
- ✓ ごまのセサミンでコレステロール対策!



なごさPoint  
豆腐の上のせ、レタスとトマトを添えるだけで見た目豪華に!

## ミズと鶏ささみの バンバンジー風ごまサラダ

エネルギー:504kcal・塩分4.6g(4人分)

### 【材料:4人分】

ミズ	100g
鶏ささみ	4本(約200g)
長ねぎ青い部分	1本分
生姜	10g
酒	大さじ1
塩	小さじ1/2

### 【A:ごまだれ】

白ねりごま	大さじ2
しょうゆ	大さじ2
鶏の茹で汁	大さじ2
白すりごま	大さじ1
きび砂糖	小さじ1

### 【作り方】

- 1 皮をむいたミズを5cm幅にカットし、沸騰したお湯に塩をひとつまみ入れて1~2分ほど茹で、水にひたして冷ます。
- 2 小鍋に水200ccと酒、塩、長ねぎ、スライスした生姜を入れて火にかける。
- 3 2が沸騰したら鶏ささみを入れ2分間加熱し、火を止めそのまま冷ます。
- 4 Aをすべて混ぜ合わせ、ごまだれをつくる。
- 5 鶏ささみは食べやすい大きさにほぐし、スジを取り除く。
- 6 1のミズの水気を切り、5と4を和えて完成。



食育料理家  
フードクリニック「なごさカフェ」  
オーナーシェフ

### なごさ なおこ

八戸市在住。病気の予防の食事をコンセプトにした旬のやさしいたっぷりの家庭料理が人気の「なごさカフェ」を経営。食育や調理指導など講師として全国で活動中。

このレシピは  
アメブロ☆幸せなごさごはん  
にも掲載しています。

レシピアレンジの詳細はFacebook  
f 青森県広報広聴課



ミズのごまサラダ  
の巻

茹でエビとトマトを  
プラスして簡単アレンジ!

残ったごまサラダは、  
そのまま冷蔵庫へ。

# 土砂災害から身を守るために



河川砂防課  
かわぐち けんたろう  
**河口 健太郎**

河川、砂防関係の仕事に携わり十余年。現在は土砂災害による被害防止のため日々奮闘中！

## 取組紹介

私は、土砂災害から県民の皆さまの命を守るため、土砂災害の危険性や避難の重要性について呼びかける仕事に携わっています。

土砂災害は、突発的に発生し、また、発生すると被害が大きくなりやすいという特徴があります。このため、国土交通省と県では、これから梅雨や台風の時期を迎えるにあたり、県民の皆さまに土砂災害の防止と被害の軽減の重要性について知っていただくため、毎年6月を「土砂災害防止月間」として定め、『みんなで防ごう土砂災害』をスローガンとして、さまざまな取組を行っています。

### 取組①：広報活動

県民に広く周知するため、横断幕とポスターの掲示や、福祉施設などへのパンフレットの配布などを行っています。また、新聞とラジオで

土砂災害の危険性や避難の重要性について呼びかけを行っています。

### 取組②：小学生を対象とした防災教室を開催

将来、地域の防災リーダーとなり得る小学生を対象に防災教室を行っています。防災教室では、土砂災害が恐ろしいものであると同時に、その危険が身近に潜んでいることを知ってもらい、被害に遭わないためにはどうしたらよいかを説明します。

### 取組③：土砂災害防止講演会の開催

自治体の砂防・防災担当者や建設業関係者などの日頃から土砂災害に直接携わる機会の多い方のほか、土砂災害防止に興味のある一般の方も対象とした講演会を毎年行っています。土砂災害に関する造詣が深い方をお招きし、土砂災害に関する知識の習得や防災意識の向上

を目的としてご講演いただいています。

## 業務にかける思い

近年、地球温暖化に伴う気候変動により大雨が増加する傾向にあり、全国的に土砂災害が多くなってきています。

土砂災害から命を守るためには、何よりも日頃の備えと早めの避難が重要です。日頃の備えとしては、土砂災害の特徴と危険性について知っておき、危険がある場所を把握しておくことがあげられます。

土砂災害防止に関する呼びかけを繰り返して行くことで、土砂災害に関する理解が深まり、日頃の備えや早めの避難につながっていくと思います。土砂災害から県民の命を守るために、これからも呼びかけを行っていきます！



H30土砂災害防止月間ポスター



小学生を対象とした防災教室



講演会の様子

河川砂防課 ☎017-734-9670

## 今日からできる3つのRの実践でごみの減量化

**1,002gと15.0%。**  
これは何の数字かご存じですか？

これは、平成29年度の本県の県民1人1日当たりのごみの排出量とリサイクル率(行政回収分)の数字です。全国平均はそれぞれ920gと20.2%ですから、本県はまだまだごみの減量化やリサイクル率の向上に取り組む必要があります。まずは次の3つのRを暮らしの中で実践していきましょう。※スーパー等での、民間回収分を含めたリサイクル率は30.7%で年々上昇しています。

### Reduce (リデュース／排出抑制)

買い物へのマイバッグ持参、詰め替え商品の購入などでごみの排出を減らしましょう。

### Reuse (リユース／再利用)

ものが壊れても修理したり、リサイクルショップを上手に利用して、ものを長く使しましょう。

### Recycle (リサイクル／再生利用)

市町村のルールに沿ってごみをきちんと分別し、リサイクルできるものはリサイクルしましょう。また、集団回収やスーパーなどでの店頭回収に協力しましょう。

豊かな自然環境に恵まれた青森県を未来に引き継いでいくために、私たち一人ひとりが、「もったいない」の意識をもって、ごみの減量とリサイクルに取り組みましょう。



※民間回収を含めた全体では30.7% (平成29年度)

詳しくは、県庁HP    
環境政策課 ☎017-734-9249

## 県民の皆さまの声を県政に活かします

### ■県政・わたしの提案

青森県をもっとよくするための建設的で具体的なお提案を県庁ホームページや電子メール等で受け付けています。お名前、ご住所、電話番号、年代、職業を明記の上、提案内容を400字程度にまとめてください。

- 県庁HP 「県政・わたしの提案」で検索
- 電子メール [teian@pref.aomori.lg.jp](mailto:teian@pref.aomori.lg.jp)
- 郵送 〒030-8570 青森県広報広聴課「県政・わたしの提案」係

### ■あおもり県民政策提案制度(パブリック・コメント)

県の基本的な政策の立案や規則等を定める過程で皆さまの意見を募り、「県民参加型県政」を推進するための制度です。県庁ホームページでは、意見募集中の計画等や意見募集の実施結果等を掲載しています。

- 県庁HP 「パブコメ」で検索

### ■出前トーク

県政に関するさまざまなテーマについて、皆さまの集會等に県の担当職員が出向き、お話しをしながら、楽しく意見交換をします。

- 県庁HP 「出前トーク」で検索

### ■行政相談

県政全般に係る相談、照会、要望、苦情など、各種お問い合わせに応じています。

- 電話 017-734-9139
- 電子メール [gyouseisoudanin@pref.aomori.lg.jp](mailto:gyouseisoudanin@pref.aomori.lg.jp)

詳しくは、県庁HP    
広報広聴課 ☎017-734-9138

## 「青天農場」で本物の農作業を学ぼう！

県では、地域の農業者から農作業を学べる「青天農場」を設置しています。「農業を手伝ってみたいが、経験がなくて不安。」というような皆さん。お近くの地域県民局地域農林水産部農業普及振興室へご相談ください。講習者の希望を電話等で伺いながら、受講日や時間、作業内容等を決め、すぐに農作業を学ぶことができます。

また、県内の農協等では、農業の求人・求職をあっせんしています。詳しくは、農業労働力求人マッチングサイト「あおりの農作業の上手い人たち」をご覧ください。



構造政策課 ☎017-734-9463

## クマの被害にあわないためには！

冬眠から目覚めたクマは、この時期食物を探してよく動き回ります。クマの被害にあわないためには、まず、クマに出会わないことが重要です。クマが活発に動き回る日の出や日没の前後はなるべく山に入らない、山菜採りに夢中にならないなどのほか、クマの出没情報に気をつけて危ないところに近づかないようにしましょう。昨年は、クマに襲われる被害が県内で3件発生しています。

もしクマに出会ってしまったら、クマを刺激しないよう、静かにその場を立ち去るなど、落ち着いて行動しましょう。

詳しくは、県庁HP   自然保護課 ☎017-734-9257

## 経済センサス-基礎調査を実施しています！

経済センサス-基礎調査は、全国のすべての産業分野における事業所の活動状態等を明らかにすることを目的として実施するものです。

6月から11月まで、調査員証を持った調査員がすべての事業所の活動状態を実地に確認し、新たに把握した事業所など一部の事業所には調査票を配布します。

皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

詳しくは、県庁HP   統計分析課 ☎017-734-9168



## 自動車税 納税はお早めに！

自動車税は、金融機関のほか、全国のコンビニで納税できます。また、パソコン・スマートフォンの専用サイトからクレジットカードでも納税できます。(別途、手数料324円がかかります。)

詳しくは、納税通知書の同封チラシをご覧ください。

クレジットカードで納税する場合は、  東青地域県民局県税課第三課 ☎017-734-9974

自動車税の納期限は  
**7月1日(月)**です。

## “暮らしの足”を守る ～路線バスの現状と県の取組～



### ■路線バスの現状

人口減少や自家用車の増加等により、本県の路線バス利用者数は、ピーク時の5分の1以下に減少しており、暮らしを支える移動手段である路線バスの維持は、年々難しくなっています。

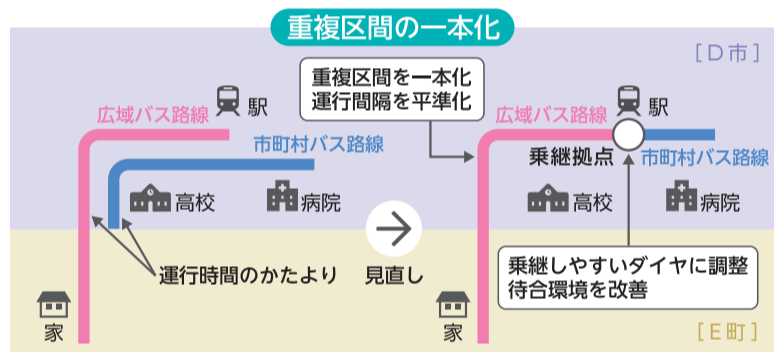
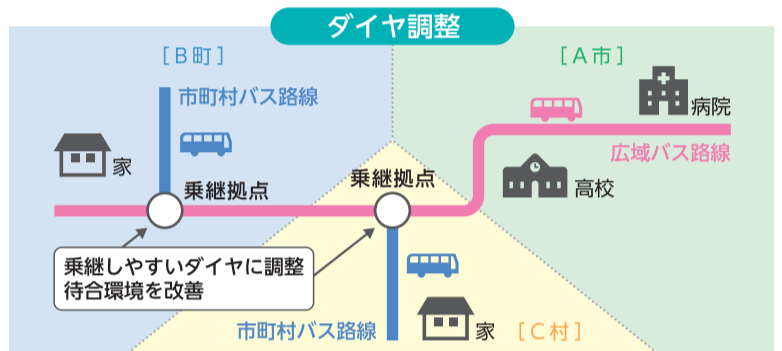
### ■“暮らしの足”を守るための取組

#### [1]バス路線の見直し

通院、通学、買い物、おでかけなど日常生活に不可欠な移動手段を将来にわたって守るため、交通事業者や市町村と協力しながら、バス路線同士のダイヤ調整や運行経路が重複する区間のバス路線を一本化するなどの見直しを進めていきます。

通学できる高校や通院できる病院が増えたり、バスの効率的な運行により赤字が減少する等の効果が期待できます。

ダイヤ調整と重複区間の一本化などで  **■病院・学校までスムーズに移動**  
**■バスの効率的な運行・赤字の解消**



#### [2]利用促進

これまで、交通事業者や市町村と連携して、小学生等を対象にバス乗り方教室などを開催してきましたが、新たに通勤利用者向けの公共交通通勤利用冊子の配布などの取組により、バスの利用を促していきます。

県では、交通事業者、市町村とともに取組を進めていきますが、暮らしの足を守るためには「利用していただく」ことが大切ですので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

交通政策課 ☎017-734-9151

みなさんと県庁を結ぶ  
県政インフォメーション

テレビ ■RAB[LINK/青森県](30秒スポット) ■RAB[大好き、青森県。](第三日曜日)17:00～17:15 [放送週が変更になることがあります] ■ATV[みんなの県庁!](土)16:55～17:00 ■ABA[メッセージ](土)9:30～9:35  
ラジオ ■RAB[青森県広報タイム](月)～(木)7:30～7:35 ■エフエム青森[あおもり・ふぁん](月)～(金)16:55～17:00  
新聞 ■「広報あおもりけん」(毎月1日・16日) 東奥日報・デーリー東北・陸奥新報  
HP/Twitter ■県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/> ■青森県庁Twitterアカウント (@AomoriPref)

編集発行 青森県広報広聴課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 ※「県民だよりあおもり」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。  
※今後の広報紙制作の参考とするため、「県民だよりあおもり」に関する皆さまのご意見・ご感想を郵送でお寄せください。

この印刷物は520,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.4円です。